



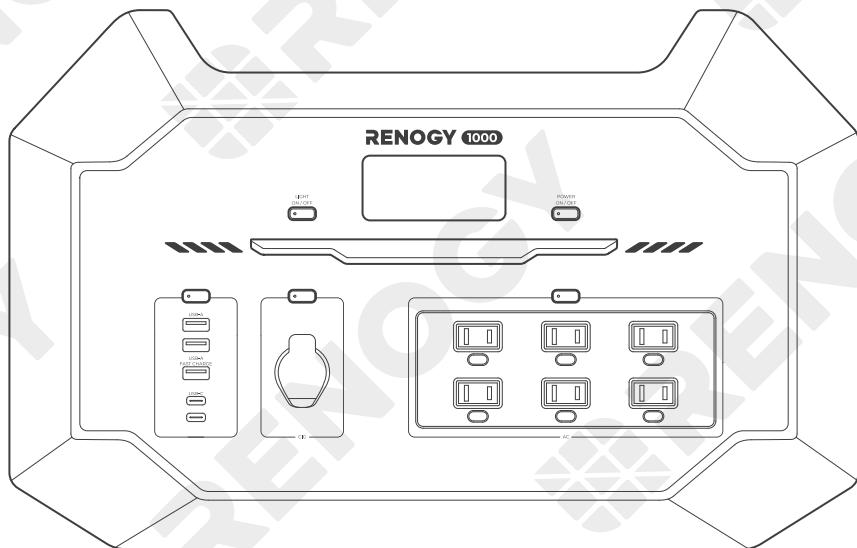
Find Your Energy Freedom.™

RENOGY

ポータブル電源 1000

RPS100150AA-PCS

VERSION A1



ユーザーマニュアル

はじめに

本マニュアルには、RENOGY ポータブル電源 1000 の重要な操作および保守手順が記載されています。

操作の前に本マニュアルをよくお読みいただき、適切に保管してください。本マニュアルの指示、または注意事項に従わない場合、感電、重傷、または死亡事故につながる恐れがあります。また本製品に損傷を与え、動作不能になる可能性があります。

免責事項

- RENOGY は、継続的に製品の改良を行っています。対象製品が製造された時点でのユーザーマニュアルの情報の正確性や製品の法令適合性は保証します。
- RENOGY は、当社以外の者による修理を実施した場合、又はユーザーマニュアルに従わない方法で商品を使用した場合によって生じた損害について一切の責任や義務を負わないものとします。
- ユーザーマニュアルのイラストは、デモンストレーションを目的としています。製品のリビジョンや市場地域の違いによって、細部が若干異なる場合があります。
- RENOGY は、ユーザーマニュアルに記載されている情報を予告なく変更する権利を有します。

著作権

RENOGY ポータブル電源 1000 ユーザーマニュアル 2023 Renogy. All rights reserved.

- ユーザーマニュアルのすべての情報は、RENOGY およびそのライセンサーの著作権の対象となります。RENOGY およびそのライセンサーの事前の書面による許可なしに、ユーザーマニュアルの全部または一部を変更、複製、またはコピーすることはできません。

商標

以下は RENOGY の登録商標です。

RENOGY

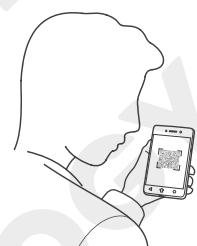
RENOGY

- ユーザーマニュアルの他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、ここでのこれらの使用は、それらの製品、サービスのスポンサー、または承認を意味するものではありません。ユーザーマニュアルまたは製品に表示されている商標の不正使用は固く禁じられています。

バージョン号

2023 年 3 月 Revision A1

オンラインマニュアル



ユーザーマニュアル



DC Home アプリ



DC Home App

GET IT ON
Google Play

Download on the
App Store

目次

警告図記号	1
パッケージ内容	1
別売アクセサリー	1
パーツ一覧	2
LCD 液晶画面	3
操作環境	3
電源のオン / オフ	4
DC Home の接続	4
Bluetooth 接続	4
パラメーターのカスタマイズ方法	4
ソーラー充電	5
AC 充電	5
シガーソケット充電	6
デバイスへの給電	6
USB-A / USB-C デバイス	6
CIG による自動車用デバイス	6
AC デバイス	7
本体のタイムアウト設定	7
スタンバイ電源 (SPS)	7
並列接続	8
ストリップライトの操作	8
トラブルシューティング	9
仕様	10
概要	10
バッテリー	10
入力	10
出力	11
メンテナンスと保管	11
点検	11
清掃	11
保管	11
安全に関する重要な注意事項	12
一般的な注意事項	12
ポータブル電源の安全	12
充電の安全性	12
放電の安全性	12
ソーラー充電の安全性	12
Renogy サポート	13

警告図記号

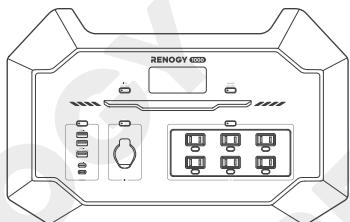
次の記号は、重要な情報を強調するためにユーザーマニュアル全体で使用されています。

⚠ 警告: 人身傷害、死亡に繋がる潜在的に危険な状態を示します。

⚠ 注意: 安全で適切な設置と操作のための重要な手順を示します。

ℹ 注記: 最適な動作状態を得るために重要な手順または提示を示します。

パッケージ内容



RENOGY 1000ポータブル電源 x 1



ユーザーマニュアル x 1



AC 充電ケーブル x 1



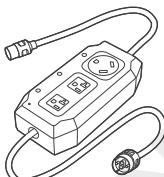
ソーラー充電
用ケーブル x 1



CIG充電ケーブル x 1

ℹ すべてのアクセサリーが完全で、損傷の跡がないことを確認してください。

別売アクセサリー



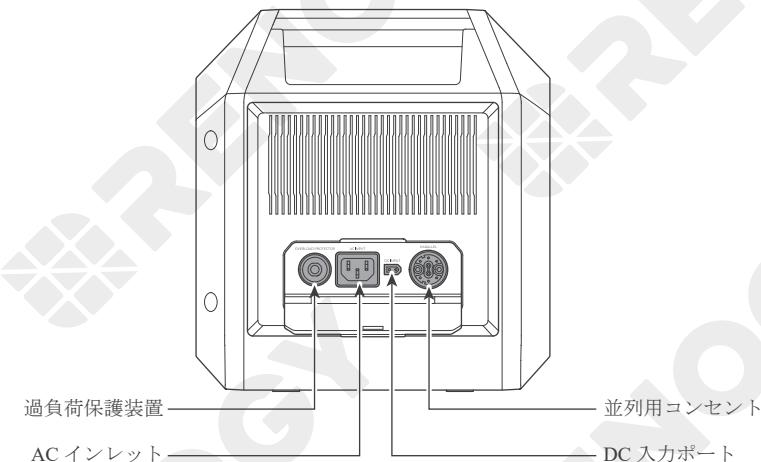
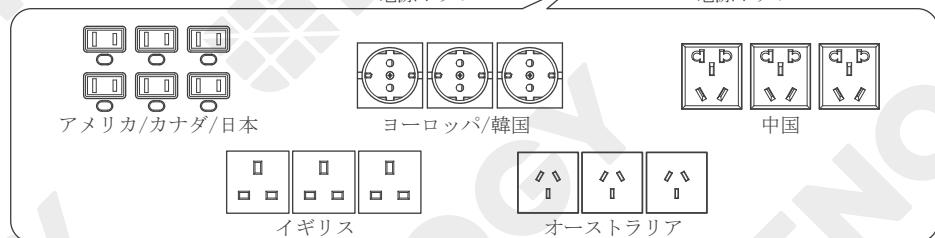
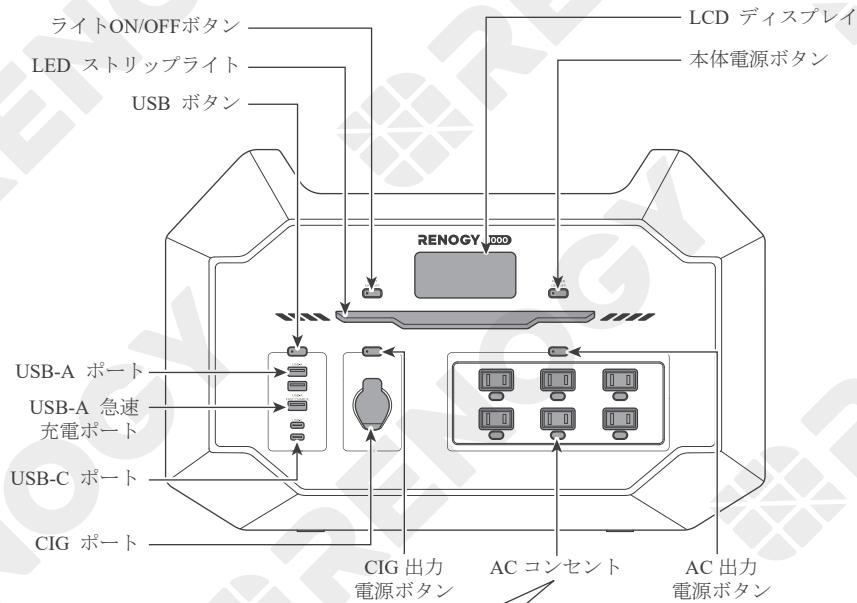
単相並列キット



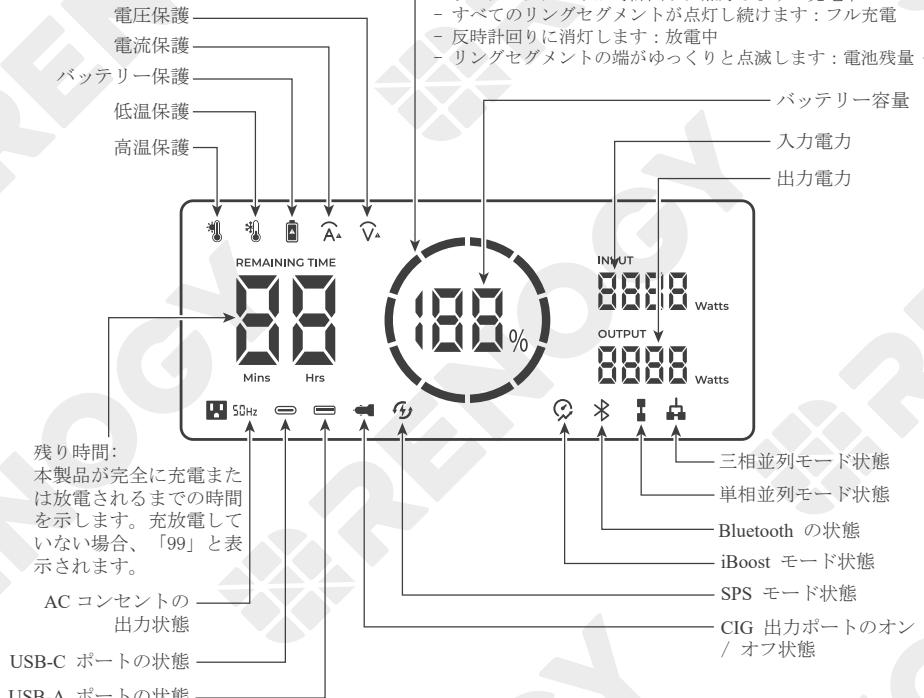
三相並列キット
(US/CA/JPモデルのみ) (未発売)

ℹ 別売アクセサリーは renogy.jp で販売しています。

パート一覧



LCD 液晶画面

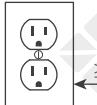


i [高温保護]、[低温保護]、[バッテリー保護]、[電流保護]、または[電圧保護]アイコンが表示された場合は、充分に注意してください。[トラブルシューティング](#)をご参照のうえ、保護表示の解消を図ってください。

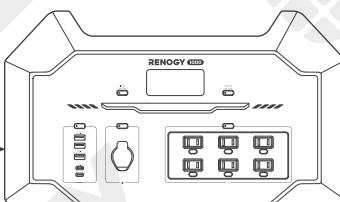
i 5分間操作を行わない場合、電力を節約するためにLCDディスプレイが自動的に消灯します。電源オン/オフボタンを短く押すと、LCDディスプレイが点灯します。

操作環境

壁コンセント



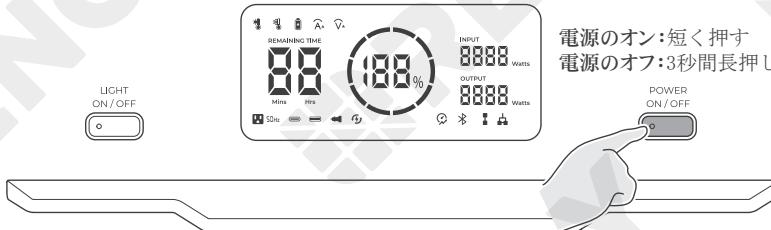
$\geq 101.6 \text{ mm(4 inches)}$



推奨周囲温度: 0°C~40°C / 32°F~104°F



電源のオン / オフ



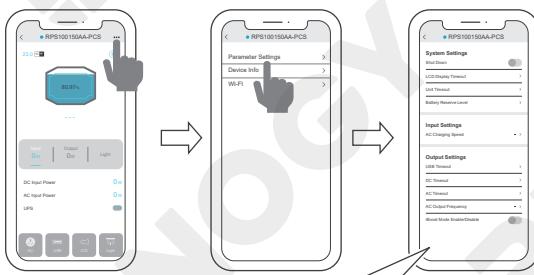
電源のオン:短く押す
電源のオフ:3秒間長押し

DC Home の接続

Bluetooth 接続



パラメーターのカスタマイズ方法



シャットダウン:ポータブル電源本体の電源ON/OFF

LCDディスプレイ表示自動オフ時間(min):LCDディスプレイのタイムアウト設定

ユニット自動オフ時間(min):ポータブル電源のタイムアウト設定

放電停止SOC:バッテリー残量に応じた放電停止設定

AC充電スピード:AC充電の速度設定

USBタイムアウト:USB-Aポート、USB-A高速充電ポート、およびUSB-Cポートのタイムアウト設定

DCタイムアウト:CIGポートのタイムアウト設定

ACタイムアウト:ACコンセントのタイムアウト設定

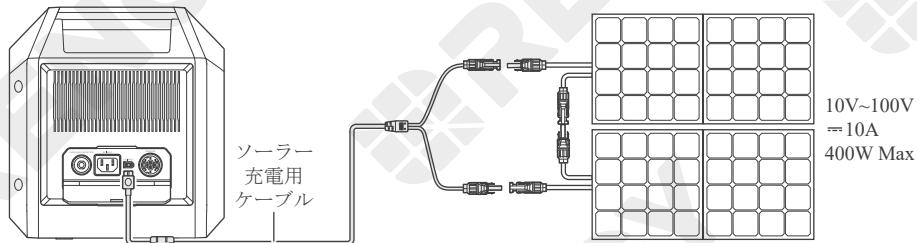
AC出力周波数:ACコンセントの出力周波数設定

AC iBoostモードの有効化/無効化:AC出力のiBoostモードの有効化、無効化設定

i スマートフォンまたはタブレットを本製品から 20m 以内の距離に置いてください。

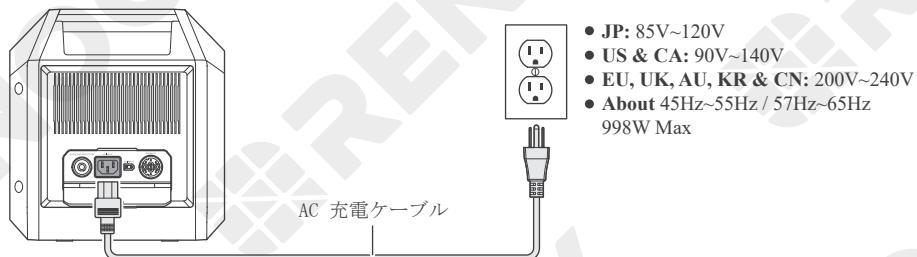
i DC HOME 内の設定項目は、説明書作成時点のものです。実際の項目とは異なる可能性がございますので、予めご了承ください。

ソーラー充電



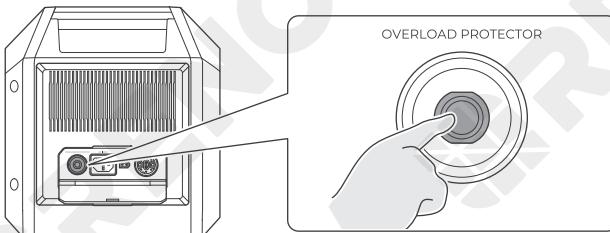
i 本製品は自動的に入力電力を制限します。エネルギー変換損失を考慮し、定格出力が 400W 以上のソーラーパネルで本体を充電することを推奨いたします。

AC 充電

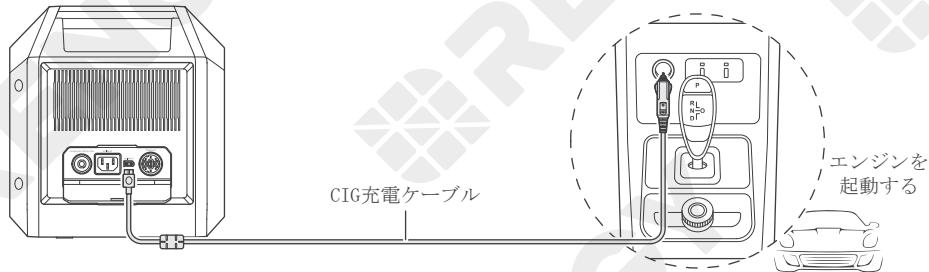


i iTurbo テクノロジーにより、本製品は 1 時間以内に最大 80% まで充電できます。

充電電流が AC インレットの定格電流を超えると、過負荷保護装置のボタンが自動的に飛び出し、AC 充電が停止します。その際はまず AC 電源ケーブルを外し、過負荷保護装置のボタンを押し下げるなりセットされます。過負荷保護装置のボタンが再び飛び出した場合は、お問い合わせフォームよりご連絡ください。



シガーソケット充電

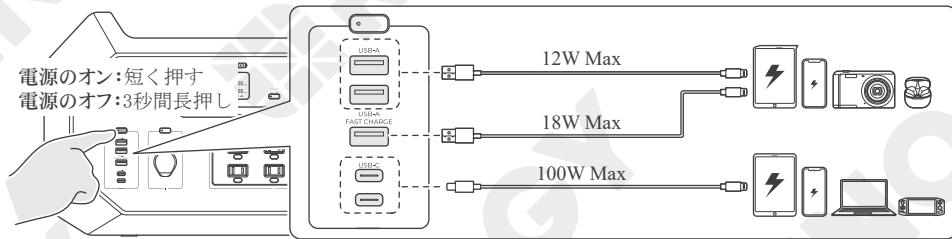


デバイスへの給電

本製品の合計出力電力は、最大 2100W です。本製品が過負荷になると、総出力電力が 2100W を下回るまで、USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、USB-C ポート、CIG ポート、および AC コンセントの電源を順番にオフにします。

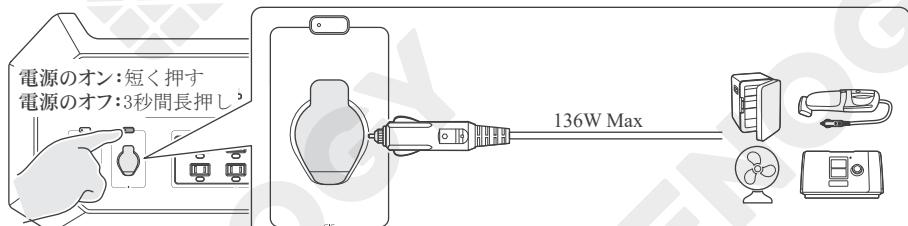
- i** 本製品は、高出力デバイスに電力を供給する場合、998.4Wh の電力を正確に供給できない場合があります。

USB-A / USB-C デバイス



- i** 両方の USB-C ポートが使用されている場合、各 USB-C ポートは最大 60W の出力電力に制限されます。
- i** USB-A 急速充電ポートから最大 18W の出力電力を得るには、接続されたデバイスが急速充電 (QC) 規格をサポートしている必要があります。
- i** USB-C ポートから最大 100W の出力電力を得るには、接続されたデバイスが Power Delivery (PD) 規格をサポートしている必要があります。
- i** USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、および USB-C ポートからデバイスへ 1 時間以上低電力または無電力を維持した場合、電力を節約するために、USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、および USB-C ポートは自動的にオフの状態になります。

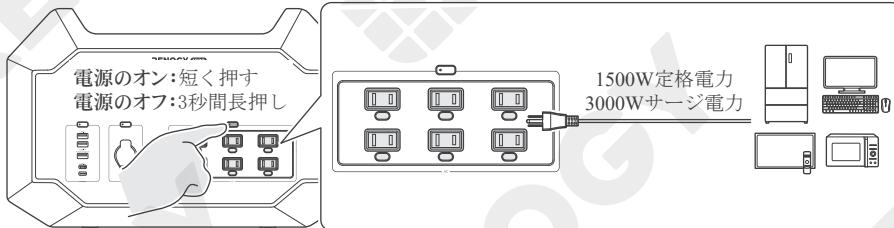
CIG による自動車用デバイス



- i** CIG 出力ポートからデバイスへ 1 時間以上低電力または無電力を維持した場合、電力を節約するために、CIG 出力ポートは自動的にオフの状態になります。

AC デバイス

iBoost モードでは、定格電力 1500W、サージ電力 3000W までの AC デバイスに給電が可能です。iBoost モードは、厳密な電圧制限のある AC 機器には適用できません。



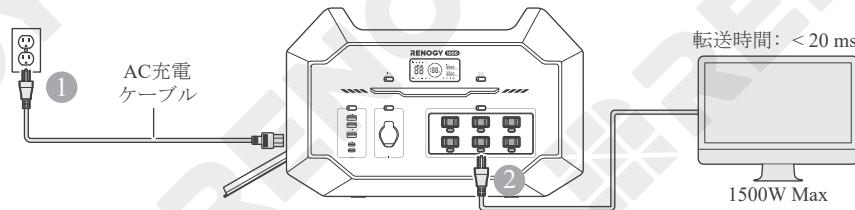
- A** ご使用の機器の仕様に合わせて、AC コンセントの出力周波数を選択してください。
- i** 本製品は、定格 1500W 以下であっても、高い起動電流を必要とする AC 機器には給電できない場合があります。
- i** AC コンセントからデバイスへ 1 時間以上低電力または無電力を維持した場合、電力を節約するために、AC コンセントは自動的にオフの状態になります。

本体のタイムアウト設定

本製品が充電されていない時に、USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、USB-C ポート、CIG ポート、AC コンセントが 1 時間オフの状態になっている場合、電力を節約するために本体の電源は自動的にオフになります。

スタンバイ電源 (SPS)

本製品は SPS として機能し、停電時に非常用 AC 電源をデバイスに供給できます。SPS モードは、AC 充電を行いながら AC 出力よりデバイスに電力が供給されると、自動的に ON になります。

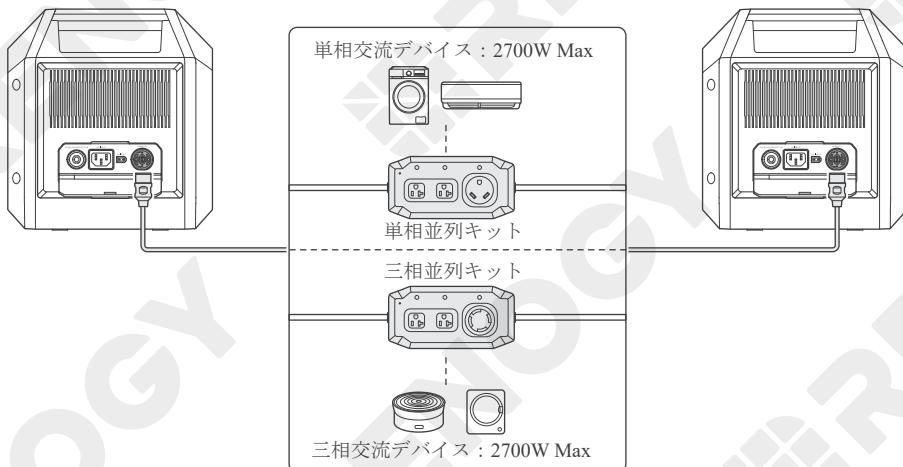


- A** データサーバーやワークステーションを含む 20 ミリ秒未満の転送時間を必要とする AC デバイスを本製品に接続しないでください。互換性を確認するには、AC デバイスの電源ユニット (PSU) の停止時間を確認してください。

- i** SPS モードをオンになると、iBoost モードは自動的に無効になります。

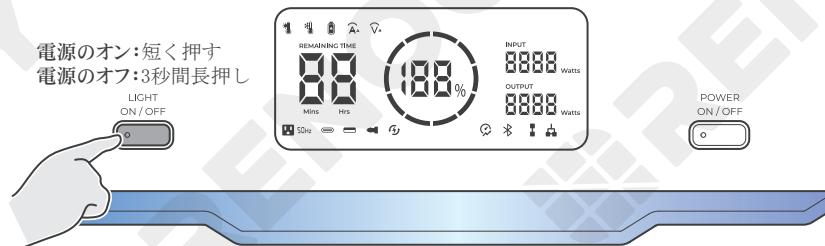
並列接続

iStack 技術により、2台のポータブル電源を並列接続することで、容量 1996.8Wh、AC 出力 2700W を実現します。



- !** 並列する前に、2台のポータブル電源の AC コンセントの出力電圧と出力周波数が同じであることを確認してください。また、同じ製品同士 (RPS100150AA-PCS) であることを確認してください。
- i** 並列に接続する前に、本製品の電源をオンにする必要があります。
- i** 並列接続時、AC 充電および SPS モードは使用できません。また、AC 充電ケーブルの接続自体をお控えください。
- i** 並列接続すると、AC コンセントは一時的にオフになります。

ストリップライトの操作



- i** LED ストリップライトが点灯している状態で、ライトオン / オフボタンを短く押すと、照明モードが切り替わり、LED ストリップライトが消灯します。LED ストリップライトには、ソリッド、ブレス、フローの 3 つの照明モードがあります。
- i** 本製品が充電中の場合、デフォルトで LED ストリップライトが自動的にブレスモードで点灯します。

トラブルシューティング

本製品が正常に動作しない場合、考えられる原因と解決策を見つけてください。解決手順によって問題が解決しない場合、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

アイコン	考えられる原因	解決手順
	AC 入力 過電圧 / 低電圧	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセントから AC ケーブルを外します。 ● コンセントの電圧を測定します。コンセントの電圧が AC インレットの仕様を超えている場合は、コンセントの使用を中止してください。 ● AC インレットを適切な電圧のコンセントに接続すると、充電を再開できます。
	DC 入力 過電圧 / 低電圧	<ul style="list-style-type: none"> ● DC 入力ポートから充電機器を外します。 ● 充電機器の定格電圧を確認してください。出力電圧の定格が 10V 未満または 100V を超える場合、充電機器の使用を中止してください。 ● 適切な定格電圧を備える充電機器を DC 入力ポートに接続すると、充電を再開できます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● USB-A ● USB-A 急速充電出力 ● USB-C ● CIG ● AC 出力 過電圧 / 低電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイコンが点滅している対象のポートからデバイスを外してください。 ● LCD ディスプレイが点灯している状態で、対象のポートに対応するオン / オフボタンを短く押すと、保護が解除されます。 ● デバイスを対象のポートに再接続します。 ● アイコンの点滅が続く場合は、弊社までお問い合わせください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● USB-A ● USB-A 急速充電出力 ● USB-C ● CIG ● AC 出力 過電流 / 短絡 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイコンが点滅している対象のポートからデバイスを外してください。 ● 対象のポートが短絡している場合は、短絡を取り除きます。 ● デバイスの定格電流を確認してください。対象のポートの仕様を超える電流が流れる場合は、デバイスの使用を中止してください。 ● LCD ディスプレイが点灯している状態で、対象のポートに対応するオン / オフボタンを短く押すと、保護が解除されます。 ● 適切な定格電流のデバイスを対象のポートに接続すると、充電を再開できます。
	インバーター高温	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンの入口と出口がふさがれていないか確認してください。 ● 本体を保管温度範囲内まで冷却します。 ● LCD ディスプレイが点灯している状態で AC オン / オフボタンを短く押すと、保護が解除されます。
	総出力過負荷	<ul style="list-style-type: none"> ● 総出力電力が 2100W 以下の必要があるため、出力電力を範囲内に抑えてください。 ● LCD ディスプレイが点灯している状態で本体電源ボタンを短く押すと、保護が解除されます。 ● USB オン / オフボタン、CIG オン / オフボタン、AC オン / オフボタンを短く押して、USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、USB-C ポート、CIG ポート、AC コンセントを再度オンにしてください。

アイコン	考えられる原因	解決手順
	バッテリー高温 ゆっくり点滅	<ul style="list-style-type: none"> 本体からすべての接続を切断します。 ファンの入口と出口がふさがっていないか確認してください。 本体を保管温度範囲内まで冷却します。 冷却後、充電ソースを本体に再接続すると、充電を再開できます。 USB オン／オフボタン、CIG オン／オフボタン、AC オン／オフボタンを短く押し、USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、USB-C ポート、CIG ポート、AC コンセントを再度オンしてください。
	バッテリー低温 ゆっくり点滅	<ul style="list-style-type: none"> 本体の温度が 5°C 以上に達するまで、適切な環境温度下で温めて下さい。復帰すると自動的に充電を再開します。 USB オン／オフボタン、CIG オン／オフボタン、AC オン／オフボタンを短く押し、USB-A ポート、USB-A 急速充電ポート、USB-C ポート、CIG ポート、AC コンセントを再度オンしてください。
	単相／三相並列故障 高速点滅	<ul style="list-style-type: none"> 単相／三相並列キットを本体から外します。 本体が同じモデル同士であることを確認してください。接続している本体のモデルが異なる場合は、並列接続を中止してください。 AC コンセントの出力電圧を確認してください。AC コンセントの出力電圧が異なる場合は、本体の並列接続を停止してください。 本体の AC コンセントと同じ出力周波数に切り替えてください。 本体を完全に充電した後、単相／三相並列キットと並列に再接続します。

仕様

概要

寸法	464 x 274 x 294 mm / 18.27 x 10.79 x 11.57 inch
重量	18.6 kg / 41.0 lbs
充電温度	0°C~40°C / 32°F~104°F (推奨範囲) 0°C~55°C / 32°F~113°F (最大範囲)
放電温度	-20°C~40°C / -4°F~104°F (推奨範囲) -20°C~55°C / -4°F~131°F (最大範囲)
保管温度	-20°C~35°C / -4°F~95°F

バッテリー

タイプ	リチウムイオン
容量	41.6V, 24000mAh / 998.4Wh
サイクル回数	3000 Cycles (80% DOD, 80% EOL)

入力

AC 入力	85V~120V (JP) / 90V~140V (US, CA) / 200V~240V (EU, UK, AU, KR, CN) ~ 45Hz~55Hz / 57Hz~65Hz, 998W Max
DC 入力	10V~100V = 10A, 400W Max

出力

USB-A 出力 (x2)	5V ~ 2.4A, 12W Max
USB-A 急速出力 (x1)	5V ~ 3A, 9V ~ 2A, 12V ~ 1.5A, 18W Max
USB-C 出力 (x2)	5V ~ 3A, 9V ~ 3A, 12V ~ 3A, 15V ~ 3A, 20V ~ 5A, 100W Max
CIG 出力 (x1)	13.6V ~ 10A, 136W Max
AC 出力 (x3/x6)	100V (JP)/120V (US & CA)/220V~240V (EU, UK, AU, KR & CN) ~ 50Hz/60Hz. iBoost モード時 (デフォルト) : 定格電力 1500W, サージ電力 3000W、モードオフ時 : サージ電力含め定格電力 1500W
出力総計	2100W Max

メンテナンスと保管

点検

最適なパフォーマンスを発揮するために、これらの作業を定期的に行うことをお勧めします。

- 本体周辺は清潔で乾燥した状態を保ってください。
- 本製品を乾燥した清潔で、換気の良い場所に保管してください。
- LCD ディスプレイが正常な状態であることを確認してください。
- 腐食、絶縁体の損傷、過熱や燃焼による変色の痕がないことを確認してください。

⚠ 感電の危険性！ ポータブル電源の出力ポートに触れる前に、すべての電源がオフになっていることを確認してください。

⚠ ポータブル電源は燃焼時に有毒ガスを放出することがあります。万が一火気により燃焼させてしまった場合、近づく際は必ず防毒マスクを着用してください。また FM-200 または CO2 消火器で消火してください。刺激性のガスを吸入した場合は、直ちにその場から離れ、医師の診察を受けてください。

清掃

以下の手順で、ポータブル電源を定期的に清掃してください。

- 本製品に繋がるすべての配線を取り外してください。
- 柔らかく、乾いた布で拭いてください。
- 本体の電源を入れ直し、各デバイスへの配線を繋ぎ直します。

保管

- 本製品を 50%まで充電してください。
- 本製品に繋がるすべての負荷を外してください。
- 温度が -20°C ~ 35°C、湿度が 10% ~ 90%で換気の良い、乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 長期保管の場合は、本体を 30%まで放電し、6か月ごとに 50%まで充電してください。
- 保管後に使用する場合、ご利用の前に本製品を満充電の状態にしてください。

⚠ ポータブル電源に大きな衝撃や極端な圧力がかからないように、慎重にお取り扱いください。

安全に関する重要な注意事項

一般的な注意事項

- 本製品は幼児の手の届かないところに置いてください。
- 本製品を家庭ごみとして処分しないでください。地域の規則に従ってリサイクルしてください。
- 火災が発生した場合は、電気機器に適した消火器を使用してください。消火器には、FM-200、CO2 消火器等が使えます。
- 本製品を可燃性または刺激の強い化学物質、および蒸気にさらさないでください。
- 本製品を強い静電界、磁界、または放射線にさらさないでください。

ポータブル電源の安全

- 本製品を開ける、落とす、押しつぶす、貫通させる、振る、叩く、踏むなどの行為はしないでください。
- 本製品を解体、修理、改ざんおよび変更などをしないでください。
- 本製品に異物を入れないでください。
- 本製品を水に浸したり、雨の中に放置したりしないでください。
- 本製品を直接火にさらさないでください。
- 本製品を引火しやすい物質、または可燃性の物質から遠ざけてください。
- 本製品を暖房設備から遠ざけてください。
- 本製品の上または付近に縦樋、スプリンクラー、蛇口などの水源がないことを確認してください。
- 本製品周辺に雪が積もらないようにしてください。
- 爆発の危険性があります。充電中は、有毒ガスや爆発性ガスが発生する可能性がありますので、十分に換気をしてください。
- 本製品を強い静電界、磁界、または放射線にさらさないでください。
- 本製品および、接続されているケーブルに寄りかかる、積み重ねる、吊るすなどの行為は行わないでください。
- 本製品が損傷している場合は、露出した電解液や粉末に触れないでください。
- 本製品を使用する前に、ひび、へこみ、変形などの目に見える損傷や、異臭、加熱などの異常が無いいか確認してください。異常が見られる場合は、ポータブル電源の使用を即座に中止し、その旨弊社までご連絡ください。

充電の安全性

- 本体の充電には、RENOGY が承認した機器のみを使用してください。
- 感電の原因となる恐れがあるため、破損した機器より本製品への充電はお控えください。
- 長時間の激しい稼働の直後に本体へ充電しないでください。
- 本製品は充電を検出すると、自動的に電源がります。
- 過放電を防ぐため、ポータブル電源の充電は、車のエンジンを始動した状態で行ってください。
- 本製品を 55°C (131°F) を超える高温、または 0°C (32°F) 未満の低温の状態で充電しないでください。
推奨される充電温度範囲は、0°C (32°F) から 40°C (104°F) の間です。

放電の安全性

- 過放電を防ぐため、バッテリー残量が 10% を下回った場合、すぐに本体へ充電してください。
- 55°C (131°F) を超える高温または -20°C (-4°F) 未満の低温で本製品を放電しないでください。推奨される放電温度範囲は、-4°C (20°F) から 40°C (104°F) です。
- サイクル寿命を延ばすため、ご使用の前に本体を完全に充電してください。
- 本製品を生命維持装置またはその他の医療機器と一緒に使用しないでください。

ソーラー充電の安全性

- 損傷したソーラーパネルは使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所にソーラーパネル（別売）を置きます。充電プロセスを遅くする可能性があるため、ソーラーパネルを覆ってしまう物体は置かないでください。
- 最適な充電性能を得るために、雲のない快晴時にソーラーパネルで本体を充電することをお勧めします。

Renogy サポート

本マニュアルに記載されている誤りや欠落については、次の連絡先までお問い合わせください。

🔍 | <https://renogy.jp/contact-us/>

✉ supportjp@renogy.com

日本以外のテクニカルサポートは、下記の現地サイトをご覧ください。

Canada | ca.renogy.com

China | www.renogy.cn

United Kingdom | uk.renogy.com

U.S. | www.renogy.com

Australia | au.renogy.com

Germany | de.renogy.com

South Korea | kr.renogy.com

Other Europe | eu.renogy.com

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC ID: 2ANPB-RPS100150AA

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- (1) Orient or relocate the receiving antenna.
- (2) Increase the separation between the equipment and receiver.
- (3) Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- (4) Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.



Renogy Empowered

Renogyは、DIYに適した再生可能エネルギーソリューションの教育・普及を通じて、世界中の人々に力を与えることを目指しています。

私たちは、持続可能な生活とエネルギーの自立のための原動力となることを目標としています。

目標の実現に向けた取り組みとして、当社の様々なソーラーシステム製品を使用すると、グリッド電力の必要性を減らし、二酸化炭素排出量を最小限に抑えることができます。



Renogyでサステナブルな暮らし

ご存じでしょうか?月に1KWの太陽光発電システムを導入すると…



石炭を燃やす量を約77kg削減できます。



大気中に放出されるCO₂を約136kg削減できます。



消費される水の量が約477l節約できます。



Renogy Power PLUS

Renogy Power Plusでは、今後のソーラーエネルギーの革新的な技術を常に把握、ソーラーエネルギーの旅の経験の共有、Renogy Power Plusコミュニティで世界を変えようとしている同じ志を持つ人々と繋がることができます。



@Renogy Solar



@renogyofficial



@Renogy

Renogy は、このマニュアルの内容を予告なしに変更する権利を留保します。



RENOGY

JAPAN株式会社



eVatmaster Consulting GmbH
Battimast, 39
6428 Frankfurt am Main, Germany
contact@evatmaster.com



EVATOST CONSULTING LTD
Suite 11, First Floor, May Road Business
Centre, Taffs Well, Cardiff, Wales, CF15 7QR
contact@evatost.com